

ネウボラは、フィンランドの子育て家庭の98%が利用する無償サービスで、妊娠期から出産を経てこどもが小学校へ上がるまでの約7年間、かかりつけのネウボラ・ナースが健康診断を通して親子の悩みや不安に寄り添い相談に応ずる伴走型支援で、子育て家庭が直面する様々なリスクを早期に発見し、適時適切に専門的な支援に繋げる「予防的支援」の仕組みです。

このような制度が、妊婦さんの7割が自分の生まれ育った場所でない環境で出産するという日本にあれば、孤独な育児や産前産後うつなどの不安や悩みにタイムリーにお答えできるのではないかと。

そのような問題意識を共有する仲間と共に、今年4月に「妊娠期から家族を社会で支える議員連盟（通称「ネウボラ議連」）」を立ち上げ、会長に就任しました。

すでに自主的にネウボラ的な仕組みを創設し、手厚い妊産婦支援を展開している東京都や福島県伊達市などの担当者からヒアリングを重ね、今では日本でもネウボラのような「すべての妊産婦とこどもに対する伴走型の予防的支援の仕組み」をつくることができると確かな手応えを感じています。引き続き、「未来に誇れる日本」のために、全力で頑張っています。



写真：こどもの貧困対策推進議連幹事長、児童養護議連会長、ネウボラ議連会長として議連の提言を黄川田こども担当大臣に手交

長島昭久の最新の活動を紹介！

Connecting with You
Daily Updates from Akihisa Nagashima

NEW

(2026年6月21日より公開中)



選挙ドットコムちゃんねる出演

テーマ

【日本の防衛戦略】

- ・中東停戦合意の裏側
- ・ロシア・ウクライナ戦争で得た日本が学ぶべき教訓
- ・安保3文書改訂に対する維新とのスタンスの違い
- ・『もがみ型』は日本の宝【長島昭久×今野忍】



QRコードを読み取りいただきますとスマホでもご覧いただけます

NEW

(2026年6月26日)



党安全保障調査会副会長として高市総理に申し入れ

「新たな国家安全保障戦略等の策定に向けた提言」を申し入れ

総合アプローチの推進

外交・防衛・経済・技術・情報・人材の6要素を有機的に連携。

外交・防衛力の抜本強化

国際秩序を主導する外交、新しい戦い方への対応や継戦能力の確保。

政府横断的な取り組みと予算確保

経済安保や認知戦対策の強化、および政策実行に十分な予算の確保。



QRコードを読み取りいただきますとスマホでも詳細をご覧いただけます

長島昭久後援会事務所

東京都府中市宮西町4-12-11 モア府中2F / TEL: 042-319-2119 FAX: 042-319-2119